

令和3年度 全国学力・学習状況調査の実施結果について（概要）

5月27日（木）に実施された全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省より公表されました。本市立学校では、小学校37校人2,988人、中学校18校2,763人が調査を受けました。実施結果の概要について、以下にまとめました。なお、調査結果は学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面です。

○調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

○調査対象 国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

○調査内容

◇教科に関する調査（国語、算数・数学）

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な問題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

◇生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面、新型コロナウイルス感染症等に関する調査

学校に対する調査

指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備状況に関する調査、新型コロナウイルス感染症等に関する調査

○調査結果の概要

◇児童生徒質問紙の結果概要

【9割以上が肯定的に回答している主な項目】

（小学校・中学校共通）

- 「朝食を毎日食べているか」「毎日、同じくらいの時刻に起きているか」
- 「人の役に立つ人間になりたいか」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うか」
- 「友達と協力するのは楽しいと思うか」「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができるか」
- 「学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強に役立つと思うか」

【全国平均と比較して特に良い傾向が見られる主な項目】

（小学校）

「学校に行くのは楽しいと思うか」「自分には、よいところがあると思うか」

（中学校）

- 「学校の授業時間以外に、普段（月曜から金曜）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか」
- 「数学の勉強は大切だと思うか」

【全国平均と比較して課題が見られる主な項目】

（小学校・中学校共通）

「国語の勉強は好きか」「家には、どれくらいの本があるか」

（小学校）

- 「将来の夢や目標を持っているか」「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思うか」
- 「算数の勉強は好きか」「英語の勉強は好きか」

（中学校）

- 「国語の授業の内容はよくわかるか」「数学の授業で問題の解き方や考え方がわかる様にノートを書いているか」
- 「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいるか」
- 「将来の夢や目標を持っているか」

◇教科（領域）ごとの結果概要

【小学校】国語は、4領域中1領域で全国平均を上回りましたが、3領域で全国平均を下回りました。

算数は、5領域中1領域で全国平均を上回りましたが、4領域で全国平均を下回りました。

全国平均正答率より上回った領域

国語 「話すこと・聞くこと」

算数 「データの活用」

全国平均正答率より下回った領域

国語 「書くこと」「読むこと」
「言葉の特徴や使い方等」

算数 「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」

【中学校】国語は、4領域中1領域で同等でしたが、3領域で全国平均を下回りました。

数学は、4領域中3領域は全国平均を上回りましたが、1領域で全国平均を下回りました。

全国平均正答率より上回った領域

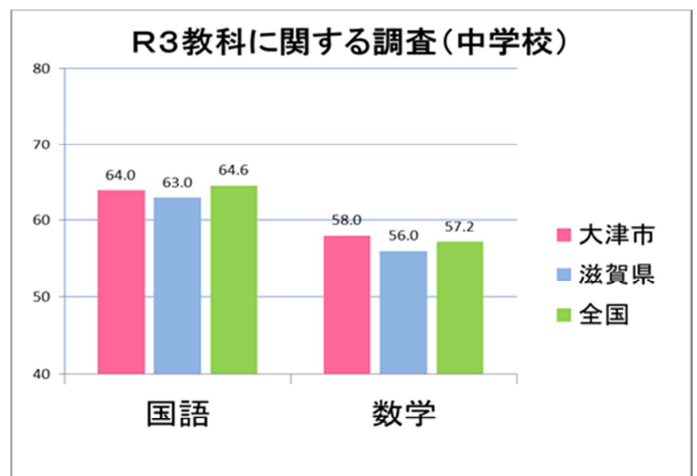
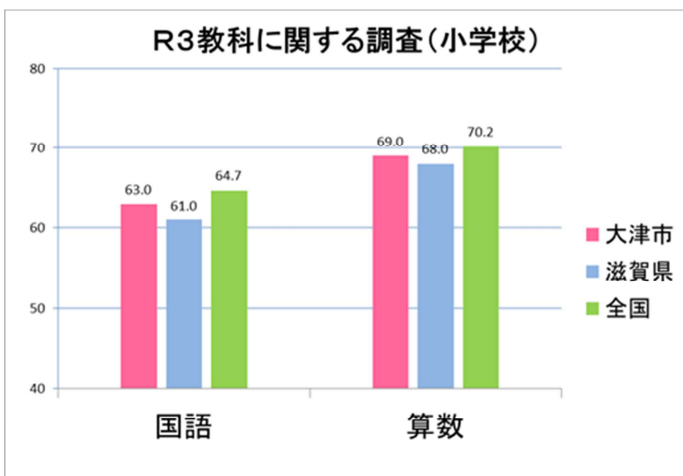
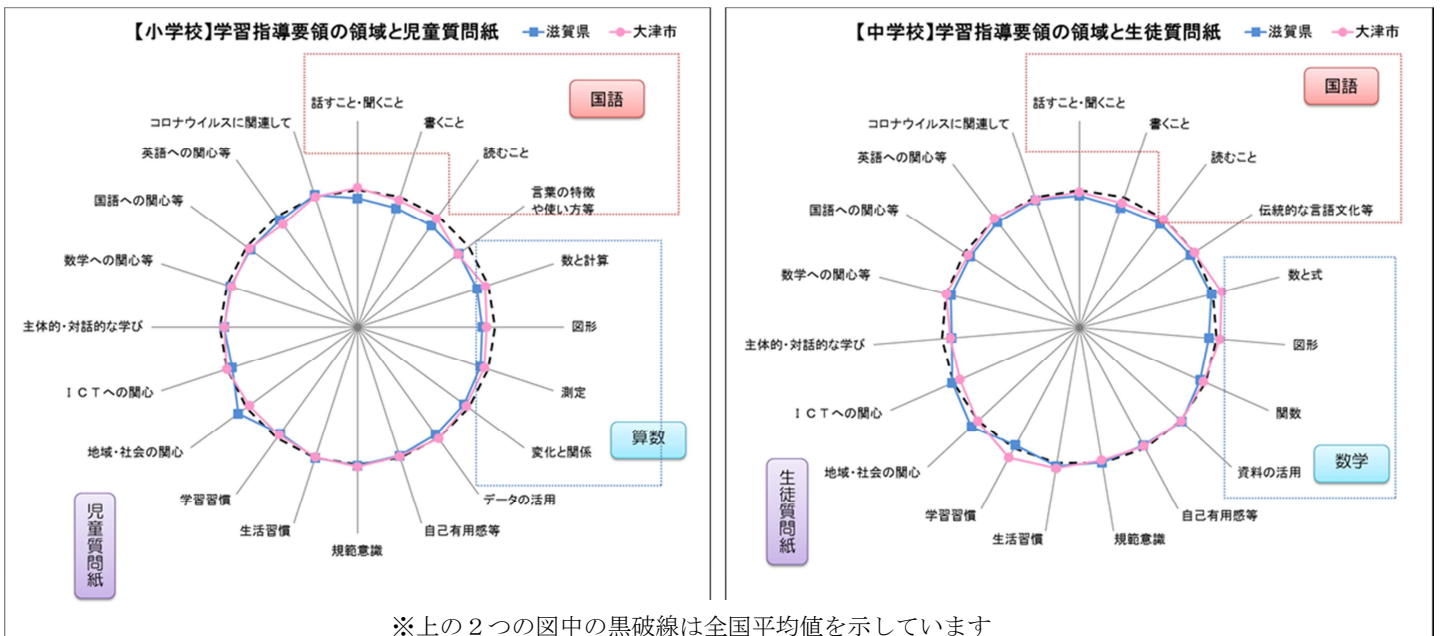
国語 なし

数学 「数と式」「図形」「資料の活用」

全国平均正答率より下回った領域

国語 「話すこと・聞くこと」「書くこと」
「読むこと」

数学 「関数」



- ・小学校国語、算数、中学校国語、数学いずれも滋賀県の平均正答率を上回りました。
- ・中学校数学は、全国の平均正答率を上回りました。

今後についても、大津市全体の調査結果を詳細に分析し、学力の向上につながる改善方を示します。